

榎地区地域だより

2009年(平成21年)10月16日発行(年4回発行)

No.31

編集・発行

榎町地域センター管理運営委員会 広報部

〒162-0042 新宿区早稲田町85

☎ 03-3202-8585

URL <http://www2.odn.ne.jp/~hak91920/>

ENOKI

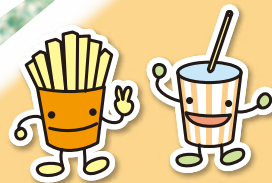
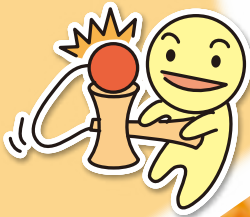
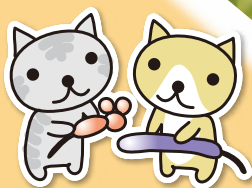
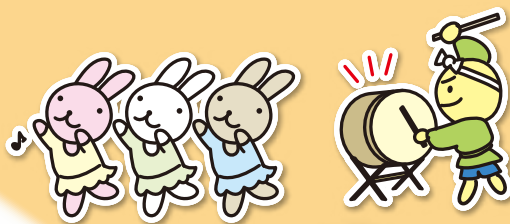
えのき

第7回

榎町地域センターまつり

平成21年10月25日(日) 午前10時～午後4時

イベントがいっぱい！
楽しいまちのおまつりです



会場 榎町地域センター(新宿区早稲田町 85 番地)

主催 榎町地域センター管理運営委員会

問合せ TEL (3202)8585

* 駐輪・駐車スペースはありません。
自転車・車でのご来場はご遠慮ください。
* 会場及び会場周辺での喫煙はご遠慮ください。

子どもたちの活躍レポート

平和のポスター展入賞

新宿区では毎年区立学校の小学4年生〜中学3年生を対象に、「平和のポスター」を募集しています。今年も応募作品の中から優秀な作品を8点選び、本庁舎の1階ロビーに展示しました。「平和のポスター展」で優良賞を受賞した鶴巻小学校5年生の毛利智香さんの作品と受賞の感想文を紹介しましょう。

『私はポスターに、戦争の様子と戦争の被害にあった人たちの気持ちをえがきました。』

戦争の様子をかく時は、テレビや本でみたのを思いだしてみたり、自分で考えたりしました。ばくだんを落とすという戦闘機、燃えくずれる建物、泣きながらにげる人々をかいているときに、戦争はともおそろしいものなんだと改めて思いました。

戦争の被害にあった人たちの気持ちをえがく時は、家族や



友だちを失ったら、つらくて大泣きしてしまうとか、戦争をおこした人に対してとてもおこるだろうとか、自分が被害にあったらどうなってしまうかを考えてえがきました。私がかいたポスターを見てくれた人が、戦争をやめよう、やめさせたい、という気持ちになってくれたら、とてもうれしです。私はこのポスターをかいてから、戦争はともおそろしいもので、地球から無くさなければならぬものだという意識が今までよりずっと強くなりました。これからも、戦争を無くすことに努力したいと思えます。』

砲丸投げ選手の活躍

砲丸投げ選手として、陸上競技会で優秀な成績を修めている西戸山中学校の長沼瞳さんの作文を紹介します。

『私は西戸山中学校の二年生です。所属はバレー部ですが一年生の7月に陸上部の先生に勧められ砲丸投げを始めました。練習は毎朝7時15分から8時までとバレーのない日の放課後です。』

今年の9月、新宿区の陸上競技会で優勝し、それからいくつかの競技会に出場してきました。今年の夏には東京都の大会で二位になり、栃木県で行われた関東大会にも出場することができました。自己ベストは12メートル32センチです。

応援してくれる友だちや先生、家族、学校に砲丸投げのサークルを作ってくださいました。主事さんなど、たくさんの方に感謝しながらこれからも記録を伸ばしていきたいです。目標は全国大会に出場することです。応援よろしくお願います。』

早稲田小米作り

早く稲刈りをしたいな!

早稲田小学校では、毎年、5年生が総合的な学習の時間の中で稲作の体験をしています。担当の深山益行先生に、子どもたちが稲を育てている様子を以下のように伝えていただきました。

5月25日(月)田植えをしました。一週間前に泥んこになり大喜びで田おこしをしました。田植えの前に「どうやって植えるのかな」「たくさん実るかな」と期待に胸をふくらませていました。やってみると、「泥まみれは楽しいけれど、普通の田んぼではないので、掃除が大変」という声が聞かれました。

だんだん稲が大きくなり、穂ができる様子を楽ししく観察していた子どもたち。「黄色く色づく」のを楽しみにしていました。米ぬかペレットを提案した子は「失敗したらどうしよう」と不安を抱えての観察、水やりでした。

夏の暑い時期の世話を乗り



越えて穂がたれてきた頃、新たな問題が…。雀が屋上に集まるようになりました。ネットを張ったものの隙間を見つけては侵入します。子どもたちは、スズメを見つけては追い出し作戦。追い出そうとしてもなかなか出てくれません。

10月2日(金)稲刈り予定日。あいにくの雨で延期。「どうやって稲刈りするのかな」「初めての経験だから早くやりたい」「どれくらいの実がとれるかな」「もみすりも楽しみだ」と待ち遠しい様子。ただし、スズメによる被害の程度が、実際に稲刈り・脱穀をしないとわからないところを心配している子もいます。10月6日(火)の次回予定日は晴れますように。

漱石公園

イベントのお知らせ

秋の日、漱石公園で行われる紙芝居等による文豪漱石の勉強やネイチャー・ゲーム、クイズ、バナナの叩き売りの実演等のイベントに参加して、親子の絆をさらに深めてみませんか。



○日時 11月3日(祝)
午前10時～12時

○場所 漱石公園

*雨天の場合は榎町地域センター3F
大会議室A・Bにて開催します。

○参加対象 小学生とその保護者
15組(申し込み順)

○参加費 一組 5000円

○申込み・問合せは左記まで
森田090(2)315(4)587

○主催 親子で「育つ力」を育てる会

○協力 NPO法人 漱石山房

*この事業は(財)新宿区生涯学習財団からの委託を受けて実施する4回講座の一部です。

榎地区協議会

第二回

早稲田まち歩き

参加者募集!

榎地区協議会第一分科会では、かねてより新宿歴史博物館のご協力を得て「早稲田まち歩きマップ」の作成を進めていきましたが、このたび完成しました。

地域の歴史、ゆかりの人々、史跡、坂道などの説明とそれらを地図上に示し、北、中央、南の推奨まち歩きの3コースを載せています。

マップは榎町特別出張所にて希望者に配布しておりますので、これを利用して大いに地域の歴史を探索してみたいかがでしょうか。

なお、マップ完成を記念して、専門家によるイア・フオン・ガイド付の「第二回早稲田まち歩き」を次の通り開催しますので、奮ってご参加ください。

○日時 11月7日(土)

午前9時30分 集合
(時間厳守)
午後0時30分 終了予定

○集合場所 榎町地域センター
4階多目的ホール

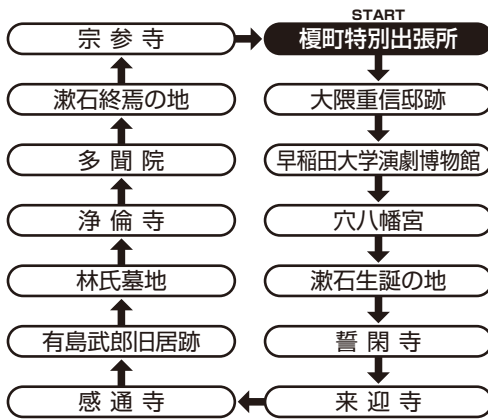
○募集人数 30名(先着順)

○参加費 無料



穴八幡宮境内

○コース(中央コースをアレンジ)



○申込み

10月15日(木)午前10時～
10月30日(金)午後5時まで
榎町特別出張所 松尾、多田まで

TEL (32002)2461
FAX (32002)2476

夏休みラジオ体操会

今年の夏も7月21日から約二週間にわたり、学校、公園などの13か所の会場で「ラジオ体操会」が開催されました。延べ人数にして1万3千8百6名の大勢の方が元気に参加しました。



鶴巻小学校でのラジオ体操会

*ラジオ体操会では、毎朝6時30分より
弁天町公園で「ラジオ体操」を行っています。

榎地区小学校対抗
ドッジボール大会



○日時 11月8日(日)

午前9時～12時

○会場 鶴巻小学校 体育館と校庭

○申込み 学校から配布される申込み書に必要事項を記入して、

10月26日(月)までに学校にお申し込みください。

○主催 榎地区青少年育成委員会

○協力 榎町特別出張所



榎町特別出張所地区町会連合会では、去る7月18、19日の両日、地域内の各種団体と連携し、福祉・環境・防災・交流などの活動を通じ、ひとと町を結び地域の課題解決のための「地域力」「地育力」を高めることを目的に「えのき結(ゆい)フェスタ」を開催いたしました。

開催にあたり「平成21年度東京都地域の底力再生事業助成」による援助と23の機関・団体と27町会のご協力とご支援で、広域的に事業を展開することができました。

19日(日)の体験会場では、新宿区長中山弘子様よりご挨拶を頂戴し、六百名を越す参加者の方々に、「支え合いのやさしいまち」をテーマに掲げた福祉コーナーや、エコあそびを中心とした環境コーナー、防災・防犯コーナー、地域団体活動紹介展示コーナーの各コーナーで、「見る・知る」体験を通じて「地域力」の必要性を認識していただけたことと思います。

また、盆踊り会場では延べ三千名が夏の夜の交流を楽しみ、折りしも東の空に大きく二重に描き出された虹は、ひとと町をつなぐ明日へのかけはしの様であり、「えのき結フェスタ」にエールを贈ってくれているようでした。これからも地域の課題解決に向けて、みんなの力を結び、一緒にまちづくりを進めてまいります。

「地域力」向上のため、皆さまのご支援とまちづくりへの声をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

榎町特別出張所地区町会連合会

会長 中村 廣子



早稲田通りの盆踊り会場 つつじ連の阿波踊り

牛込オバケえんにち



今年も、牛込オバケえんにちが決行でき、成功させることができました。とてもうれしく思います。

私は昨年も参加させていただき、もっとこうしたらおもしろいのではないかと、こうはできないのだろうか、ということを考えていました。

そして今回、自分の理想通り全てができたわけではありませんが、新しいことに積極的に取り組み、充実したものにすることができたと思います。

準備はとても大変でした。しかし、みんな協力して何かを作り上げる、そしてそれを多くの方に喜んでいただくことは難しいことであり、とても素晴らしいことだと思えます。

これからもオバケえんにちが続ぎ、笑顔が溢れることを願っています。

(牛込第一中学校三年 森田龍さん)

中学生の企画による「牛込オバケえんにち」が8月23日(日)、牛込第二中学校で開催されました。

お化け屋敷、ゲーム、ミニえんにち、そして今年は、中学生の自作自演による「寸劇」も登場し、好評を博しました。

数々の趣向をこらした催しに、二百名以上の参加者も大満足。夏休み中、時間をやりくりし、暑い中頑張ってくださいました31名の中学生の皆さん、お疲れ様でした。

実行委員をされた森田さんと泉さんの感想文をご紹介します。

私は今年のオバケえんにちが初参加でした。私が担当したのは「寸劇」でした。と言っても、言いだしっぺが私であり、責任者も私でした。この「寸劇」も私と同じく今年が初参加、というか初めての試みでした。役者は皆中学生。裏方のスタッフなんていないので、私たちの手作りでした。それが本当に大変で、部屋を暗くしたり舞台袖を作ったり…。でもすごく楽しかったです。当日、つまり本番は全五回+特別に一回、計六回の公演でした。来場者は百人を越えて嬉しかったです。来年もできたらいいなあ、と思っています。

(牛込第一中学校二年 泉佳代子さん)

おすすめ 秋の散歩道

秋の一日、赤や黄色に輝く美しい紅葉を探しに、近くを散策してみませんか。広報「えのき」がおすすめる「秋の散歩道」を紹介します。

コースはゆっくり歩いて1時間半。早稲田駅方面、江戸川橋駅方面のどちらからでも回るることができます。

紅葉を楽しみながら、鶴巻町交差点のガウディ風のビルの装飾を見たり、早稲田大学の演劇博物館や講談社野間記念館を訪れ、芸術の秋を満喫するのもいいですね。



5 新江戸川公園

細川家下屋敷の庭園だったこの公園の中心には大きい池があり、水面に色とりどりの紅葉が映る景色は壮観です。都心とは思えない静けさと深い森に囲まれて、森林浴も楽しめそう。
開園時間：2月～10月9:00～17:00 (11月～1月は～16:30)

8 sekiguchi-dai 音ノ葉 oto-no-ha oirioto-no-ha

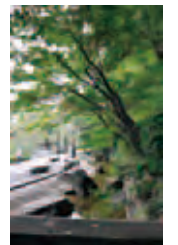
講談社・野間記念館の隣にあるガーデニング・ショップ。エントランスでは季節の草花を積んだアンティークの荷馬車が迎えてくれます。花の苗や園芸グッズのほか、隣接のアトリウム(温室)では観葉植物なども購入できます。秋植えの球根を買って、春のガーデンプランを立ててみませんか。
営業時間：10:00～19:00(無休)

4 演劇博物館

早稲田大学構内にある、坪内逍遙ゆかりの演劇博物館。レトロな雰囲気たっぷりの室内には、国内外の演劇や日本の民俗芸能などの貴重な資料が展示されていて、見応え十分。2月5日まで劇作家・太田省吾を特集した展示を開催中。
開館時間：10:00～17:00(火・金は～19:00)
休館：祝祭日・連休の日曜日(詳細は問い合わせ)



9 モダンな礼拝堂の東京カテドラル聖マリア大聖堂



10 お花見で有名な新江戸川公園。水辺に沿った遊歩道は散策にぴったり。

えのき子ども 防災キャンプ

夏休みの7月19日(日)、江戸川小学校の校庭と体育館を会場に「えのき子ども防災キャンプ」が行われました。

子どもたちが防災に関心をもつことを目的に、榎地区青少年育成委員会が主催したもので、牛込消防署員、牛込消防団第一分団員の指導のもと、子ども主体の防災訓練と災害時の疑似体験が行われました。

子どもたちは水消火器や造水機の扱いをすぐに覚え、落ち着いた様子で訓練をこなしていました。

火災発生時やケガをした時に消防署に通報する「通報訓練」では、初めて家族以外の人と電話で話をする子どももいましたが、しっかりと情報を伝えることができました。



三角巾を使うケガの「応急処置」は、子どもたちには少し難しかったようですが、二人一組でお互いを助け合いながら、上手に処置をすることができました。子どもたちは、起震車に乗って震度6の地震を体験したり、非常食を試食したり、消防車の装備に興味を持ちたり、重たい防火服を着たりして、短い時間にもかかわらずの学びがありました。

訓練終了後は子どもたちから「震度6の時は何もできない。立ち上がることもできない」「通報訓練がいちばん役に立った。実際に火事などが起こった時はもっとちゃんとできると思う」となどの感想が述べられました。

来年の夏に行う「こども防災キャンプ」は、災害時の避難所訓練を含めた宿泊キャンプが予定されています。

経王寺

(きょうおうじ)

「新宿山ノ手七福神」のお寺

―お正月といえは初詣―初詣といえ
ば「新宿山ノ手七福神―その七福神のひ
とつ「大黒天像」が安置されているのが
牛込柳町交差点近くの経王寺で、お正月
には参拝する人々で賑わいます。

経王寺は慶長三年に市谷田町の地に、
命重院日静上人によって開設されまし
た。日静上人は富山(一説では山梨)の人
で、日蓮上人の高弟である日法上人作の
大黒天像を身延山から江戸に移し、経王
寺に安置したといわれています。明暦の
大火後江戸城修築工事と、外濠開削、見
附普請工事が幕府の手によって行われ
たとき、経王寺境内地は御堀御用地とな
り、市谷川田久保町に代替地を与えられ
移転しました。その後、天和二年の火災
で経王寺は類焼し、その結果幕府御用地
となり、牛込原町の俗に「六銭寺上り屋
敷」と呼ばれていた地に二百五十四坪を
拝領し、現在に至っています。

○新宿区指定文化財 大黒天像

室町時代の作で高さ12センチメー
ルの木彫立像です。江戸時代のもの異
なり、微笑でなく厳しい表情をしている
のが特徴です。度重なる火災にも焼け

残ったことから「火防大黒」として多く
の人から崇敬されています。

○豊屋太兵衛

天保七年時の十一代將軍・徳川家斉の
還暦を祝賀するため、雑司ヶ谷に二万八
千余坪を使って豪荘華麗な「感應寺」が
建立されました。しかし、老中首席・水
野忠邦による「天保の改革」で堂塔は取
り壊され廃寺となりました。日蓮宗徒
の拠りどころであった荘厳な寺院が跡
形もなくなつたので、寺院の僧侶は憤慨
しました。

感應寺再建に熱情をそそいだ太兵衛
は権門に抗す覚悟を決め、宗門の奮起を
促そうと決意し、文久三年経王寺本堂に
登り「感應寺の再興を成就させ給え」と
最後の祈願を行い、そのあと本堂脇の松
の大木の下に座つて、愛用の豊包丁で腹
を刺し自害しました。

昭和九年新宿の「株式会社ほてい屋」
(現在の伊勢丹)で、日蓮宗関係遺物展示
会が開催された折り、経王寺より豊屋太
兵衛殉教の包丁と遺言状が出品されま
した。



日蓮宗大乘山 経王寺
新宿区原町1-14
TEL 03(3341)1314

わがまちの歴史②

喜久井町

喜久井町町会長 貝田洋

今回の掲載にあたり、喜久井町会の大
先輩である元町会長渡辺利喜平様が昭
和三十七年に書かれた「喜久井町の歴
史」を引用させていただきました。

徳川時代の「安政二年万世江戸鑑」を
見ると、わが町は馬場下横町と呼ばれて
いました。当時、馬場下横町に住んでお
られた夏目小兵衛氏が名主として、牛込
榎町、同大願寺前、同中里町、同天神町
同馬場下町、同穴八幡表門、同誓閑寺門
前、同西方寺門前、同来迎寺門前、同浄
泉寺門前、同長久寺門前の十二か所の采
配を振るっていました。同家は現在の喜
久井町三番地を中心に広い屋敷であつ
たようです。明治・大正期の文豪夏目漱
石先生はその末子としてここで産声を
あげたのです。

明治二年に前記各町会のうち、馬場下
横町、誓閑寺門前、西方寺門前、来迎寺
門前、浄泉寺門前、供養塚町の六か所を
合わせて新町名を夏目家の菊に井ゲタ
の家紋にちなんで喜久井町と命名せら
れ、同家前の坂を夏目坂と称し、ここに
本町会が誕生しました。

当時小兵衛氏は東京第三十八区第四
小区の区長でした。明治五年になって、
作州津山藩松平家の下屋敷であった現

在の十九・二十・二十一・二十二番地と附
近の開墾土地が合併されました。当時の
戸口調査によると、戸数は百二十八戸で、
士族二戸、僧侶七戸、平民百十九戸、寄
留者九戸(内士族四戸、平民五戸)、人口
は五百五十九人で、男三百一名、女二百
五十八名、寄留者三十六名(男十九名、
女十七名)、人力車十四輪とあります。
(新宿区誌による)

喜久井町には「池立神社」という神社
があり社務所は町民会館として町民の
集会場所として使われていますが、機会
があれば、ぜひこの神社と社務所をご紹
介したいと思います。

夏目漱石先生の著書「硝子戸の中」を
読んでいただくと何となく大正期の喜
久井町辺りが想像できると思います。

また、昭和の初めころまで「寺町通り」
という通称があったようで古いお寺が
多い町です。ぜひ散歩がてら喜久井町に
お越しください。私が案内をして町自慢
をさせていただきます。



昭和 35、6 年当時の馬場下交差点から見た夏目坂。
左角の小倉屋酒店は現在も同じ場所にあります。
子どもを連れてたご婦人の着物姿が懐かしい。

コミュニティ・スポーツ 榎地区大会

- 日時 11月3日(祝)
- ①輪投げ 50歳以上 3名1チーム
一般 2〜5名1チーム
- ②ユニカール 3名1チーム
①、②は午前9時〜12時頃
- ③ビーチボールバレー
男女6名1チーム
午後1時〜4時頃
- 会場 鶴巻小学校 体育館
- 参加費 無料
- 申込み 10月16日(金)までに参加者の名簿を添えてお申し込みください。
- 申込先 榎町特別出張所
TEL(3202)2461
FAX(3202)2476
- *地区大会の種目別上位3位までの入賞チームは中央大会に出場できます。
- 日時 12月13日(日)
- 会場 新宿コスミックセンター

スポーツ交流 輪投げとユニカール

- 日時 ①11月1日(日)午前10時〜12時
②12月6日(日)午前10時〜12時
- 会場 ①、②とも榎町地域センター
4階多目的ホール
- 参加費 無料
- 主催 牛込第二中学校区スポーツ文化協議会

榎ふれあいデー

「榎ふれあいデー」は、毎月第一日曜日の午後1時〜3時頃、早大通りにて開催しています。

- 11月1日(日)
ハンドベル演奏会
*体験演奏もできます。
- 輪投げ大会
- インラインスケート
- 12月6日(日)
・とんがり帽子を作ろう!
・コマまわし・けん玉
・縄跳び、他
- 平成22年1月11日(祝)
*第一日曜日ではありません。
・獅子舞・太鼓
・マラカス作り

ふれあいクッキング

家族に喜ばれる「お正月料理」をみんなで作ってみませんか?

- 日時 11月29日(日)
午前10時〜午後3時
- 場所 榎町地域センター
3階 調理室
- *申し込み等の詳細は11月初旬より各町会の掲示板にてお知らせします。

地域センター登録団体の紹介②

フラワーサークル 花・ハウゼ

現在、新宿区在住の14名(40代〜80代)でフラワーアレンジメントを勉強しています。

ハロウィン、クリスマスリースなど、季節を楽しむレッスンが好評です。

初級・中級・上級でグループを作り、一年ごとに進級となりますので、全くの初心者の方でも安心してご参加頂けます。

お花好きの仲間と楽しくおしゃべりしながら、生花に癒され元気をもらっています。笑顔いっぱいのお花たちのサークルにぜひ遊びに来て下さい。 長田 由香

○レッスン月3回

火曜日・午前10時30分〜12時

- 場所 榎町地域センター
3階 工芸美術室



見学予約 連絡先 長田
携帯 080(3157)3088

地域センターからの お知らせ

牛乳パックで編むプチマフラー

- 日時 11月14日(土)
午後1時〜3時30分
- 場所 榎町地域センター3階
工芸美術室
- 募集 20名
- 参加費 100円
- 持参する物 毛糸1玉
- 申込み 榎町地域センター事務局

第13回 年忘れカラオケ大会

- 日時 12月20日(日)
午前10時〜午後4時
- 会場 榎町地域センター4階
多目的ホール
- 募集 72名
- 参加費 300円
- 申込み 11月15日(日)午前10時〜
榎町地域センター3階
調理室・工芸美術室にて
受付いたします。
- *10月15日(木)より榎町地域センター
2階事務局に申込書を設置します。

榎町 地域センター まつり

10月25日(日)
午前10時～午後4時

～楽しいまちのおまつり～

榎町地域センターまつりに、ご家族、お友だちと一緒に遊びに来てください。地域センター地階から4階までの全館が催しの会場となります。

◆4階 多目的ホール

ダンスや日舞、コーラス、ビンゴゲームなど、多彩なパフォーマンスをお楽しみください。

◆3階

「昔のあそび・今の遊び」
「手作り教室」焼き菓子の販売
「コミ分別ゲーム」介護用品
「健康チェック」他

◆2階

「お茶席」指圧「漱石山房」
「防災・耐震」他

◆1階

「パン・野菜・鉢植えの花の販売」
「包丁研ぎ」起震車での地震体験

◆地階

「模擬店(焼きそば・カレーライス・ソフトドリンク等)」射的ゲーム

えのき文芸

俳句

病みて知る娘のやさしさ小紫

飯田もと子

知床の海の荒波秋の虹

加藤理君

湖底なるふる里恋ふや鰯雲

軽部とみ子

傾きてより濃き日ざし芒原

川口あきを

朝顔に今日も元気をもらひけり

小池よし枝

奈良大路南京黄櫨の紅葉映ゆ

佐藤琴美

店先に忘れ風鈴あるそば屋

菅原美智子

街路樹の木蔭に赤き彼岸花

蜂谷謙一

白萩の咲き乱れてや寶戒寺

廣井伸明

雲に情蓮見の席や緋毛氈

森ひろし

ながらへし命大事に吾亦紅

渡辺浪路



薄(ススキ)

草原・道端等何処にでも叢生し、これほど秋を感じさせてくれる草花も珍しい。花期は8～10月。夕陽に輝くススキの穂が目浮かぶ。



杜鵑草(ホトトギス)

野鳥のホトトギスの胸の模様に似ているところからこの名がある。花期は8～10月。若葉に油のシミのような斑紋が出るので油点草の名もある。

川柳

腕自慢太鼓音頭で踊りの輪

打ち壊す言ってた人は慌て逃げ

池田洋灯

人間を休んで本の虫になる

語り部が減って戦後が風化する

伊藤三十六

店頭に競う実りの秋数多

悔しさをバネに次への策を練る

小山一湖

褒め殺し上手に今日も殺された

年下の叔父貴の通夜に行ってきた

早稲田半次郎

■広報部からのお知らせ

「えのき文芸」に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にあることから「五・七・五」の句にしてみませんか。次号の俳句のお題は「冬」、川柳は「自由吟」です。

投稿はハガキがファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月19日(土)までに榎町地域センター事務局までお送りください。「家族の肖像」「技の伝承」の記事に登場していただける方、情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問合せ、情報提供も榎町地域センター事務局へ

T162・0042

新宿区早稲田町85

TEL (3202)8585

Fax (3202)2478

